

今月のプレゼント

アンケートに答えると、抽選でプレゼントが当たります。
詳細は、ホームページで **ID 30350**

あさひー アクリルスタンド (全5種類)

市民祭でも大人気だった、アクリルスタンドのコンプリートセット! カプセルトイで販売しているため、全種類を一気にゲットできるのはこの機会だけ!

抽選
2名様



TOMOさん
(DA PUMP)



岡野兄弟



広報おわりあさひアンケート

- ① 今月号で良かった内容を教えてください。
- ② 取り上げてほしい内容を教えてください。
- ③ その他、広報誌に関するご意見をお聞かせください。

応募方法 2/16(月) 締め切り

①～③の答え、氏名・ふりがな、住所、電話番号、年齢を記入し、ハガキ(必着)、メールか右記二次元コードで

応募
フォーム▶



メール: kouhou@city.owariasahi.lg.jp
郵送先: 〒488-8666 (住所不要) 広報戦略課

当選者のかたには、メールなどでお知らせ。プレゼントの受け渡しは、**尾張旭まち案内**で行います。

尾張旭まち案内 グリーンシティビル1階
10:00～18:00 定休日:木曜日(祝・休日を除く)



MAYOR SHIBUSAWA COLUMN

柴田市長
コラム

足下に泉あり!

ID 34636

vol.33

ご縁の不思議

昨年同様、今年のお正月を平穏に迎えることができました。念頭に浮かぶのは、やはり一昨年の元日に発災した能登半島地震です。ご存じのように、本市は輪島市と災害協定を結んでいるご縁があり、独自の募金活動や支援物資の提供、市民祭での相互参加など、息長く交流を続けてきました。

そして、昨年10月からは半年間、嬉しいことに前年に続き、職員の中長期派遣が叶いました。今回は、女性職員が自ら手を挙げてくれました。彼女はもともと珠洲市の出身で、震災を契機に公共の仕事に就く決心をし、民間から本市に転職してくれた経歴で、まさに打ってつけの人材です。現地では深刻な住民流出が続いており、市職員の確保も極めて厳しい状況にあります。特に、女性住民からの相談では、女性の担当を要望される案件も多く、現地は大歓迎、当人も志高く元気に活躍中です。

昨年11月12日、彼女の激励を兼ね、震災後、3度目となる輪島の坂口市長を表敬訪問いたしました。想像もできない激務と拝察しますが、精力的に飛び

回っておられるとのことで、まずは安心しました。

実は、私と坂口さんは、生年月日が同じなのです。誕生日が同じ人は過去に出会ったことがありますが、生まれ年まで一緒の方は初めてで、まずは、不思議なご縁の第1です。

今回の訪問に当たっては、何か新たな取組ができないか、やはり未来を託す子どもたちの交流の一択と考え、現状を調べてみました。輪島市は、分校を除き小学校が9校、中学校3校です。同市の統計上の人口は本市の4分の1、面積は20倍と様相は大きく違うのに、学校数が本市とぴったり同じなのです。何という偶然、不思議の第2!

早速、各校1対1の相互交流を提案し、ご賛同いただきました。まずは、本市の子どもたちが輪島の子どもたちに寄り添うことからスタートです。どのように育つのか、今後の展開が楽しみです。それにしても、不思議です。



▲本市の子どもたちのメッセージを坂口輪島市長に直接手渡しました。